



工業品

株式会社 ヒカリ

2017年に創業50周年を迎えた理美容シザーズの製造販売会社。2018年3月にシンガポールに現地法人を設立、2019年5月にはマレーシアで販売代理店を開業

展開国・地域 2018年 シンガポール
2019年 マレーシア

企業情報 所在地: 東京都板橋区 従業員数: 57名
設立: 1967年8月 URL: <http://www.hikari-scissors.com>

事業内容 理美容シザーズの製造販売、キューティクルニッパー製造販売

1 世界のヘアサロンで愛用されているヒカリシザーズ

2 マレーシア販売代理店

3 4 ロシアでのセミナーおよびカット実演の様子



世界的なスタイリストに愛用された手造りの逸品

弊社は、新潟県理容競技大会のチャンピオンであった先々代が刃物の研究のため、1967年に設立した有限会社光刃物研究所を前身としています。その後、東京と新潟に工場を建設し、販売会社の株式会社ヒカリ・プロダクツジャパンと合併して株式会社ヒカリとなったのは2000年のことです。弊社の理美容シザーズは、「コンピューターを凌ぐ手造りの技」をモットーに、手造りで仕上げています。日本刀からヒントを得たハマグリ刃と呼ばれる微妙な曲線を職人が研磨・調整して、均一な力でスーッと切れる他者に模倣ができない独特の切れ味が特徴です。ヴィダル・サスーンやポール・ミッチェルといった世界的なスタイリストにも弊社のシザーズは愛用され、世界中のスタイリストに認められています。私自身も美容師の経験を生かして、1年のうち半分以上は世界中を飛び回り、カットセミナーを行うことで弊社の製品を使った新しいカット技術の普及に努めています。

お客様第一に、ジェット口の莫大な情報を活用して

海外展開は、1970年ごろに創業者が米国の個人と現地法人を設立し、以降欧州やアジアなど17カ国に販売店を設置してきました。しかし、多くの販売店はスタイリスト個人が弊社の技術に惚れ込み自ら販売店になることを希望され、研磨研修を日本で受けることを条件に、研磨できる販売店として育ててきました。そんな中、シンガポールの個人営業の販売店が2015年に健康の問題で廃業しました。顧客リストを残していなかったため、弊社が代わってアフターサービスをすることもできず頭を痛めていました。対応策を求めて東京都中小企業振興公社などに相談したところ、ジェット口を勧められました。2年間もアフターサービスを受けられていないお客様のことを考えると、自社でゼロから調べて進出するよりもジェット口の莫大な情報を活用した方が早いと判断し、2017年8月にジェット口「新輸出大国コンソーシアム」の専門家支援に応募・採択されました。専門家からまず提案されたのはシンガポールで研磨キャンペーンを行うことでした。

自ら海外展開の手法を取得し、さらなる拡大を目指す

2018年3月に現地法人を立ち上げ、1カ月の告知期間を設けて、ジェット口から紹介された新たなパートナーと一緒に現地で1週間シザーズの研磨をしました。日付が変わっても研磨が終わらない日もあるほどの数が集まり、それまでに販売した約半数のお客様が持ってきたのではないかと思います。同時に、新規顧客の開拓も行った結果、シンガポールでの販売を無事再開できました。専門家には現地法人設立のノウハウのみならず、二人三脚でロードマップを作成したことで、目標を明確化し、いつまでに何をやればいいのか、課題対応のために何をしたらいいのかを学びました。また、今後の海外展開拡大に向けて、ばらばらであった国内・海外の体制の一つにすることにより、今まで以上にお互いに協力できるようになりました。専門家から学んだ手法を生かし、2019年5月に18カ国目となるマレーシアでも販売店契約を締結することができました。2019年度は理美容の発祥の地である欧州へのさらなる展開を図っていきます。

東京より発信したい
世界最高の理美容シザーズの技術を
コンピューターを凌ぐ手造りの技。

代表取締役社長
高橋 伸一 氏



ジェット口東京からの
ポイント

ヒカリの理美容シザーズは、創業者が研究して作り上げた刃付け技術であり、世界中の美容師に認められています。シンガポール販売店の廃業をきっかけに、ジェット口の支援を受けてシンガポールの現地法人設立や新たな販売店の発掘をすることができました。成功のポイントは、何と言っても同社の刃付けと研磨技術の魅力に引かれる顧客がいることですが、ジェット口専門家と二人三脚でロードマップを作成することにより、何をいつまでに準備したらいいかなどの目標が明確になったことも挙げられます。欧州展開に向け、ジェット口や内外の組織・人脈を活用した成功を期待します。